

都市再生整備計画

「横芝駅南口周辺地区」事後評価結果の概要

事後評価について

横芝光町では、平成 22～26 年度にかけて社会資本整備総合交付金を活用し、J R 横芝駅南口駅前広場の機能改善及び駅南口周辺地区の防災・防犯機能の向上による安全・安心な都市サービス拠点の形成のために、都市再生整備計画事業を行ってきました。

この度、事業終了に際し、交付金を活用したまちづくりの事後評価を実施し、まちづくりの成果や今後のまちづくり方針などを事後評価シートにとりまとめました。

本概要は、その事後評価結果の主な内容についてまとめています。

横芝駅南口周辺地区のまちづくりの概要

区域面積：57.5 ha

事業期間：平成 22 年度～平成 26 年度

事業費：355（百万円）

【まちづくりの目標】

横芝駅南口周辺地区のまちづくりを進めるにあたって、以下のようなまちづくりの目標を立てました。

J R 横芝駅南口駅前広場の機能改善及び 駅南口周辺地区の防災・防犯機能の向上による 安全・安心な都市サービス拠点の形成

目標 1

横芝光町の玄関口となる J R 横芝駅南口駅前広場の交通結節機能及びキス&ライド機能の向上を図り、公共交通利用者の安全性、利便性や快適性を確保する。

目標 2

J R 横芝駅南口周辺地区における災害発生時において、生活及び就労する人々を円滑かつ速やかに避難誘導する安全・安心な市街地環境を形成する。

目標 3

J R 横芝駅南口周辺地区の安全・安心な歩行環境を確保し、地域防犯対策を充実する。

【主な実施事業】

①横芝駅南口駅前広場の拡張整備

J R横芝駅南口駅前広場について、安全な歩行空間の確保、円滑な自動車交通の処理等を目的に大型バス乗降場、タクシープール及びタクシー乗降場、身障者の乗降場を確保する拡張整備を行いました。



【整備前】



【整備後】

②キス&ライド待機場の拡張整備

駅前広場の隣にキス&ライド待機場（自動車等での送迎待機所）の拡張整備を行いました。



【整備前】



【整備後】

③シェルター・点字ブロックの整備

雨天時の対応や日陰の確保のためのシェルター整備と、身障者に配慮した点字ブロックの整備を行いました。



【整備前】



【整備後】

④案内板の整備

町の玄関口として、観光案内、公共公益施設案内等の情報案内板の整備を行いました。



【整備前】



【整備後】

⑤防犯灯・避難所誘導板の設置

都市サービス拠点の外郭を担う町道 I - 8 号線及び 9 号線の整備にあわせ、その道路を通学路とする小中学生や夜間の歩行者等に対する安全対策として防犯灯を設置しました。また、住民や通勤・通学者等を指定避難場所に誘導するため、避難所誘導板を設置しました。



【整備後①】



【整備後②】



【整備後③】



【整備後④】

事後評価結果の概要

事業評価結果は以下のようになっています。

【事業効果を計測する数値指標の達成状況】

①当初指標の結果

計画の中で設定した数値指標の達成状況は、以下の通りです。

指標名	事業前の 数値	事業後の 目標値	評価値	達成度	1年以内 の見込み
指標1 公共交通の結節空間の満足度	5.4% (平成21年)	25.0% (平成26年)	40.3%	○	
指標2 防災機能の充実による安心度	22.6% (平成21年)	45.0% (平成26年)	44.0%	△	○ あり
指標3 夜間に安心して歩ける安心度	19.6% (平成21年)	30.0% (平成26年)	43.8%	○	

<指標1：公共交通の結節空間の満足度>

駅前広場の整備により、明確な歩車分離と、車の利用形態別の分離、広い幅員の歩行空間や点字ブロックの確保等により、満足度が目標値を上回ったため、目標達成度は○としました。

<指標2：防災機能の充実による安心度>

避難所誘導板や耐震性貯水槽の整備により、満足度は大幅に向上したものの、わずかに目標値に達しなかったため、目標達成度は△とし、1年後の達成見込みありとしました。

<指標3：夜間に安心して歩ける安心度>

小学校周辺の防犯灯の設置により、目標値を上回ったため、目標達成度は○としました。

②定性的な評価

上記の数値的な評価の他、事後評価時のアンケート調査より得られたご意見等から、数値では表せない事業効果をまとめています。

- ・駅前広場整備により駅前がきれいになり、まちの印象がよくなった。
- ・シェルター整備により雨の日も楽に移動できるようになった。
- ・町道 I - 9 号線歩道に防犯灯が設置され、夜間でも安心して散歩できるようになった。
- ・送迎車待機場ができたことで安全に送迎できるようになった。
- ・バス停が整備されて乗降しやすくなった。

【まちの課題の変化】

今回の事業によって、まちの課題がどのように変わってきたのかをまとめています。

- ① 駅前広場等が小規模であり、送迎時の交通渋滞の解消が課題でありましたが、駅前広場整備により、バス、タクシー、送迎自動車の交通動線が分離され、円滑な交通処理が可能となり渋滞が減少しました。しかしながら、朝夕など、送迎自動車の指定の乗降位置以外の駐停車により、一時的な渋滞の発生が見られます。また、駅前広場への入り口交差点が事業中であり、右折車線等が整備中となっています。
- ② 駅前広場は交通島等がなく歩行者が車道等を横断するなど歩行空間の改善が課題でありましたが、タクシーの待機所として交通島を整備し、歩車分離を明確にしたことにより、安心して歩ける歩行空間を確保することができました。
- ③ 災害時の円滑な避難誘導のため、避難所である小学校までの要所に避難所誘導板を設置したことにより、災害時の避難経路の明確化及び意識の高揚を図ることができました。
- ④ 通学路である町道 I - 9 号線等は、防犯対策が課題でありましたが、防犯灯を設置することで通学時の安全性の向上を図り、安心して夜間の散歩ができる環境を確保することができました。一部、町道 I - 8 号線等の未整備空間が残されています。

【今後のまちづくりについて】

今回の事業を踏まえ、今後のまちづくりについてまとめています。

- ・整備された駅前広場を活用し、駅前の憩いと賑わいの創出を図っていきます。
- ・駅前広場への円滑な交通アクセスを図るため、駅前広場入り口交差点の改良工事を推進していきます。
- ・朝夕などに一時的に発生している駅前広場内の渋滞を解消するため、送迎自動車が指定の乗降位置で駐停車するよう、利用者へのマナーアップの周知を図っていきます。
- ・町道 I - 8 号線等の道路の未整備空間について、歩行者の安全・安心を確保するため、道路整備の進捗にあわせ、防犯灯の整備を進めていきます。